

令和5年9月定例議会（追加議案）

令和5年度一般会計補正予算（第6号）

にかかる事業説明書

目 次

所属	ページ番号
建設住宅課	11

1 基本情報

事業番号	673	事業名	公共土木施設災害復旧事業	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
担当課	建設住宅課		担当係	地域整備室	
予算区分	款 10	災害復旧費	項 2	公共土木施設災害復旧費	目 1 公共土木施設災害復旧費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり		⑥公共インフラ（道路・上下水道など）の適正な維持管理		
重点項目	—				

2 補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	町債	一般財源	
6号補正 9月定例	38,367	25,000	14,674	0	0	7,300	3,026	災害復旧事業債 7,300千円
補正後		63,367	28,014	0	0	14,200	21,153	

3 事業の概要

補正の概要	9月6日の豪雨にかかる災害復旧費について予算計上を行い、公共土木施設（町道高野線）の復旧を行う。また、7月13日の豪雨にかかる災害復旧費について、測量設計成果に基づき事業費の増額を行う。			
	（単位：千円）			
補正の内容	細事業等	内容	補正額	財源内訳
	9月6日豪雨 町道高野線災害 復旧事業	○測量設計費 3,000千円 9月6日の豪雨により被災した公共土木施設の復旧を行うため測量設計業務を行う。 町道高野線 法面崩壊 L=11.0m H=3.0m	3,000	単町
	7月13日豪雨 町道勤上野線災 害復旧事業	○本復旧工事費（被災箇所：2箇所） 19,000千円増 測量設計業務を行い、被災範囲を確定、復旧工法を選定したところ、工事費が当初の見込みと比べ増額となったため。 箇所①16,000千円増（14,000千円 → 30,000千円） 災害報告時 L=17.0m H=10.0m → 測量設計後 L=19.0m H=16.4m 箇所② 3,000千円増（3,000千円 → 6,000千円） 災害報告時 L= 5.0m H= 7.0m → 測量設計後 L= 6.4m H=10.2m ○電柱移転補償費（災害復旧工事の支障となる電柱、電線の移転） 3,000千円増 支障となる電柱、電線を管理する電気事業者から移転に係る費用について詳細な見積徴収を行った結果、移転補償費が当初の見込みと比べ増額となったため。 箇所① 4,000千円増（1,000千円 → 5,000千円） 箇所② 1,000千円減（2,000千円 → 1,000千円）	22,000	国費 14,674 起債 7,300 単町 26
	合計		25,000	
				
9月6日の豪雨で被災した町道高野線（法面崩壊）				



7月13日の豪雨で被災した町道勸上野線(法面崩壊2箇所)

これまでの
取組状況や
改善点等